

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-0054
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-1
 氏 名 ミニストップ株式会社 印
 代表取締役社長 阿部 信行
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ミニストップ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区犬蔵3-7-1		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	コンビニエンスストアのフランチャイズビジネス業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	999	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	コミュニケーション推進部 環境・社会貢献 担当
		所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1、イオンタ ワ-6階
		電話番号	043-212-6489
		FAX番号	043-212-6767
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	22年度 ~ 24年度 (報告年度 22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	当社の環境・社会への取組みをホームページにて公表しています。 http://www.ministop.co.jp/eco_social/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排出量	(実) 1,611 t-CO ₂ (調) 1,281	(実) 1,625 t-CO ₂ (調) 1,293	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 1,813 t-CO ₂ (調) 1,456
削減率		(実) -0.9 % (調) -0.9	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) -12.5 % (調) -13.7

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	店舗数		単位		t-CO ₂ /店	
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	73.25	73.86			72.51	
削減率		-0.8 %	%	%	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	設備機器の老朽化店舗の閉店やインバータ冷凍冷蔵機導入 1 店舗と空調や照明の運用の成果によるエネルギー使用量の削減に努めましたが、平均気温が 2 度高い猛暑と 10 店舗に一升および二升炊き炊飯器各 1 台を設置したこともあり、電力総使用量において 1%増加。同じく電力使用量の増加により温室効果ガス総排出量においても 0.9%、原単位においても 0.8%増加した。
第 2 年度	
第 3 年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	(1) 管理体制の構築①当社の EMS において、各本部長が責任者となり、目標の進捗管理を徹底し、定期的に全社の朝礼等で発表。(2) 維持管理全般 (3) 照明設備①新店、改装店の照明 h f インバータ化や人感センサー照明の導入。(4) 店舗その他①改装店のトップランナー機器の導入(特に 2010 年は冷蔵冷凍機 D C インバータ)。(5) 事務用機器①パソコンは不要時電源切断徹底。コピー機、FAX 機は省エネモード。
	第 1 年度	温室効果ガス削減に寄与する取組として老朽化店舗の閉店 1 店。冷蔵冷凍機インバータ化新店 1 店舗に設置。店舗内空調の設定温度を夏は 25 度、冬は 20 度の設定指示とバックルーム、事務所内の無人時消灯を徹底しました。
	第 2 年度	
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	小学生のこども達を対象とした春の田植え、夏の環境学習、秋の稲刈りツアーをそれぞれ実施。そのツアーで発生する温室効果ガスを算定し、参加者よりカーボンオフセット料金を頂戴して弊社が購入した排出量と相殺し、社長名でオフセット証明書も発行しました。オフセットした企画合計排出量は788.65KGでした。3企画の一般参加者総数は約150名です。
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①食品リサイクルの更なる推進。平成23年度中に全店実施が飼料化実施。②廃棄物の分別等による削減。③社有車講習におけるエコドライブ教育の実施。④一般向けの環境教育の一環として年3回のエコツアー実施。
第1年度	計画の④については4項に記載
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

1,494	t-CO ₂
1,262	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	22

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--